京都

2022 summer
No.38

いのちと生活を支える環境デザイン
株式会社 内藤建築事務所
NAITO ARCHITECTS

京都

2022年summer号　VOL.38　令和4年7月15日発行

目次

トピックス　JAHMC（ジャーマック）３月号掲載
「ウィズ／アフターコロナの医療と連携した病院づくり」

実績紹介　島田市立総合医療センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（静岡県）

広島市立北部医療センター安佐市民病院 ・・・・・・・・・・・（広島県）

京の路地裏探訪　京の滝めぐり　金引の滝（京都府宮津市）

表紙の写真　水の神様『貴船神社』

竣工だより(令和4年3月～令和4年5月竣工)　令和4年5月末現在

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積（㎡）	工期（令和 年 月）
東京都	葛飾区新小岩地域活動センター にこわ新小岩　新築	RC-4	5,224	2.11～ 4. 3
岐阜県	障害者支援施設ひまわりの丘 いきいき・すまいる棟　増築	S-2	5,051	3. 4～ 4. 3
滋賀県	近江八幡市立総合医療センター 管理棟（管理部門・院内保育所）増築	S-2	843	3. 5～ 4. 3
京都府	京都第二赤十字病院　附属棟 （院内保育園・看護学校実習室・倉庫） 新築	S-3	569	3. 7～ 4. 3
滋賀県	近江笑生会生活介護事業所 ラベンダー　新築	S-1	296	3. 9～ 4. 3
千葉県	医療法人徳洲会 館山病院　新築	S-5	17,631	2. 6～ 4. 4

ご神水で練り上げた手毬飴
「京あめ 結縁 恋珠」
（京あめクロッシェとコラボ）

境内に湧き出るご神水を
使った「御神水ラムネ」

ＪＡＨＭＣ（ジャーマック）に掲載されました

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会の機関誌「ＪＡＨＭＣ（ジャーマック）３月号」に「ウイズ／アフターコロナの医療と連携した病院づくり」というテーマで、山田　剛　企画部部長による誌上研修レポートが掲載されました。

仮設病院や感染症対応の設計事例を通して、通常診療と感染症医療の両立を目指した今後の病院づくりにおいて、重要となるポイントをコンサルティングの立場から解説・紹介しています。

ウィズ／アフターコロナの医療と連携した病院づくり

誌上研修 Continuing Education

医療福祉建築　リレー連載 第3回

ウィズ／アフターコロナの医療と連携した病院づくり
仮設病院や感染症対応の設計事例を通して

山田 剛

コロナ禍における通常診療の継続性が課題

仮設病院を設計してわかったこと

誌上研修

●図表1　仮設病院プロジェクトの概要

ウィズ／アフターコロナの設計への取り組み

●図表2　病棟における段階的なゾーニング（A病院）

●写真1　空気の流れをコントロール（B病院）

感染症対策の計画・設計フロー「3つの明確化」

●図表3　受け入れ対象範囲とエリア別の対応

誌上研修

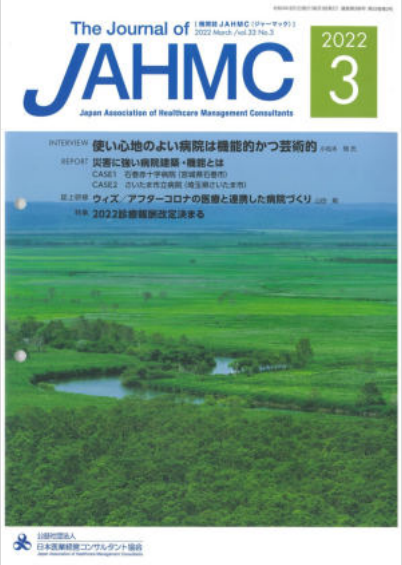
●図表4　感染経路別の主な対策事例

パンデミックBCPの策定を支援

弊社では、国内で新型コロナウィルスの感染拡大の兆しが見え始めた2020 年 3 月に、中等症及び重症患者を対象とした仮設病院プロジェクトを開始し、同年 4 月にモデルプランや法令手続き、建設費、医療機器費、スケジュール等の情報をワンパッケージとした「仮設病院」企画書をホームページで公開しました。

本稿では、弊社が設計・建設に携わった3施設の仮設病院プロジェクトを事例として、現場スタッフとの打合せにより企画書から見直した点や、対象とする患者重症度の違いによる施設計画の違い等をご紹介しています。

またウィズ／アフターコロナの時代において、感染症医療と通常診療の両立は、今後の病院づくりにおいて重要な課題テーマと言えます。仮設病院の経験で得られた知見を生かし、現在設計中の感染症対応の事例や計画・設計段階で明確化すべき3つのポイント、また今後の施設計画において配慮すべき内容についてご紹介しています。



実績紹介（島田市立総合医療センター）

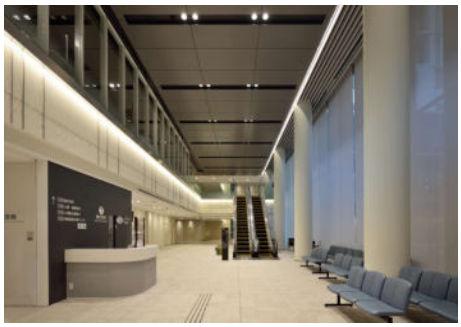
南東側鳥瞰

島田市唯一の基幹病院である市立島田市民病院は老朽化により、現敷地にて建替を行います。1 フロア3 看護単位とし縦動線の繋がりを強化したコンパクトで機能的な「高品質・ローコスト病院」を実現しました。

外来はセンターストリートを中心としたわかりやすい構成とし、救急ホットライン（ヘリポート・重症個室・OP・医局・救急を直結）の整備など「患者様にやさしく、迅速な医療の提供が可能な病院」を目指しました。病棟はスタッフカウンターに面した病室に「見守り窓」を設け、食事介助等を行える「コミュニケーションカウンター」をステーション近くに計画することでスタッフの患者への見守りに配慮した計画としました。

また、島田市の人口減少予測から、将来の医療需要の変化に対応できる「可変型医療拠点」を実現しました。病院としてだけではなく、多用途への可変が可能な「ユニバーサルスペース」「セントラルコア」「フレキシブルシャフト」「設備シャフト」「ライトウェル」を組み合わせた可変システム「コンバーチブル・システム」を採用することで、用途変更に伴う改修工事等のコストを削減するとともに長寿命化を実現します。

北西側鳥瞰



１階SHIMADAプラザ・総合案内

１階総合待合

７階病棟・４床室

５階病棟・スタッフステーション

実績紹介（広島市立北部医療センター安佐市民病院）

南西側鳥瞰

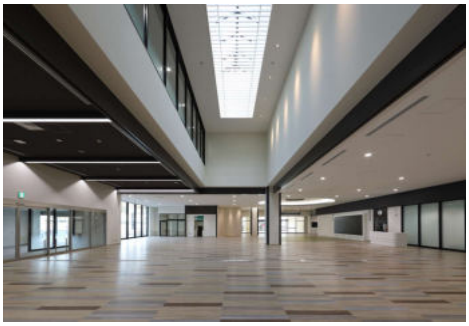
新病院は広島市が示した機能分化整備方針を踏まえ、市北部地域の中核病院として、救急やがん医療などの高度・急性期医療機能に特化した施設整備を行っています。

また災害拠点、へき地医療拠点等の病院機能の強化・拡充にも対応しています。災害時の〝いざ〟に備え、免震構造の採用や屋上ヘリポートを設置するとともに、１階のみで迅速な災害医療に対応できるよう、救急・外来診療機能を集約配置し、多数の被災傷病者の受入れに十分な床面積も確保しています。また病棟は１フロアに４病棟を配置し、スタッフゾーンを中央に集約することで、病棟間の緊密な連携が可能な計画としています。

また、多職種間の連携・交流を促進する「スタッフコモンズ」の整備や、隣接する附属棟（研修医住宅等）との「横断橋」によるダイレクトな接続等、医療スタッフが働きやすい病院づくりを行っています。

その他に、建築環境総合性能評価システム（ＣＡＳＢＥＥ広島）における「Ｓランク」を取得するなど、環境にも配慮しています。

アプローチ夜景



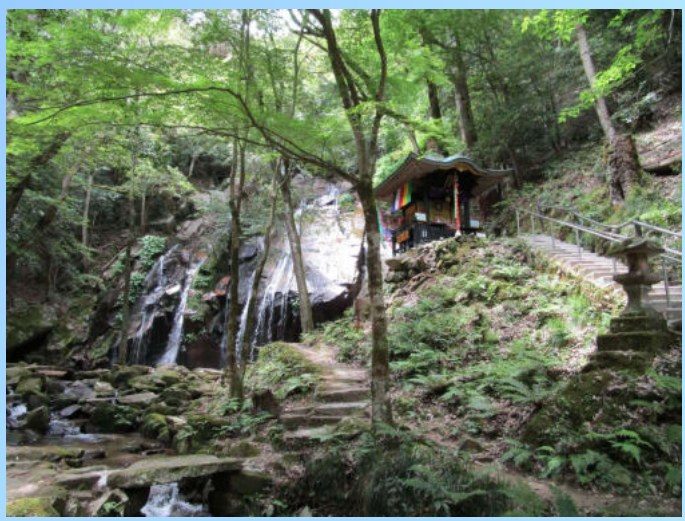
１階やすらぎ広場

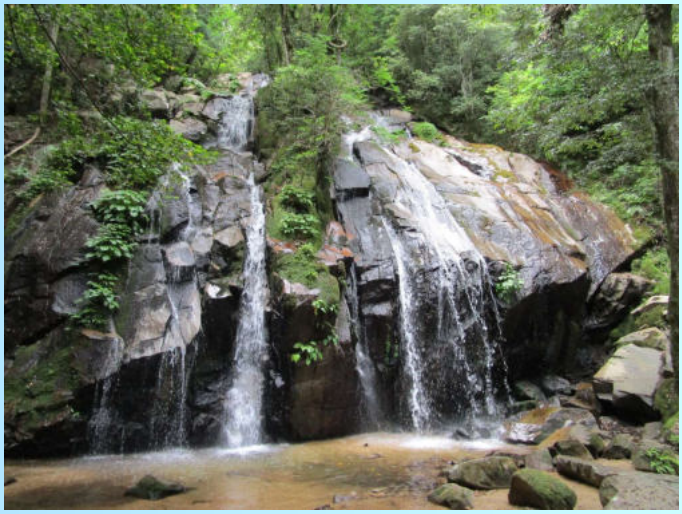
１階外来ブロック受付・待合

３階病棟・４床室

３階病棟・スタッフステーション

京の滝めぐり　金引の滝

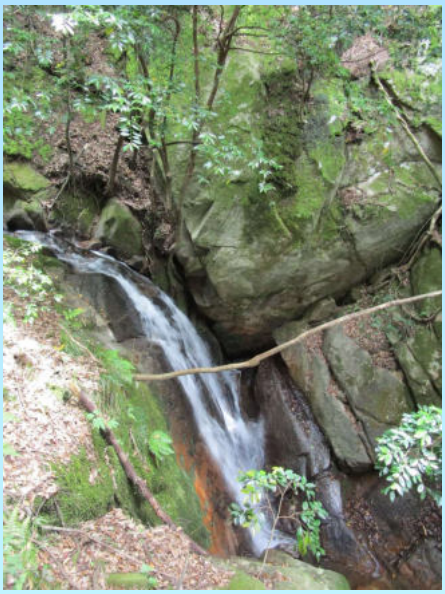




京都府宮津市滝馬にある金引の滝（かなびきのたき）は、京都丹後鉄道の宮津駅から南西約２キロメートル、金引山（題目山）の麓にあります。

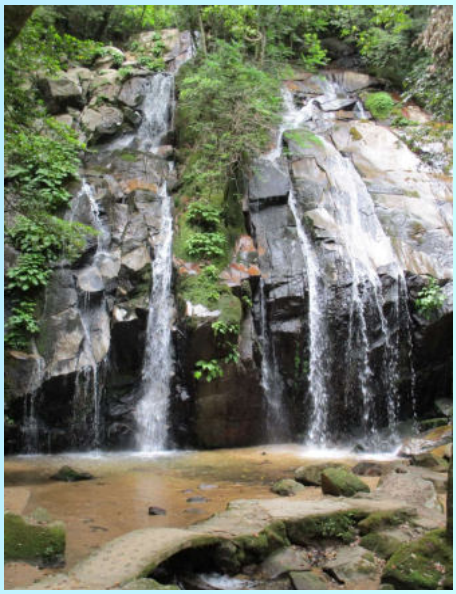
金引の滝は、落差約４０メートル、滝幅約２０メートルの金引の滝、白竜の滝（はくりゅうのたき）、臥龍の滝（がりゅうのたき）の三瀑の総称です。平成２年、京都府で唯一、日本の滝百選に選ばれました。

主瀑の金引の滝は、幅２０メートルの花崗閃緑岩（かこうせんりょくがん）の岩盤を滑るように落ちる左側の幅の狭い方が女滝（めだき）、右側の幅の広い方が男滝（おだき）と呼ばれています。滝の近くには金引山不動明王尊（不動堂）あり、一千年の昔から不動尊信徒の霊場として滝行が行われています。



臥龍の滝

白竜の滝



金引の滝

表紙の写真

水の神様『貴船神社』

貴船神社は、京都市左京区の貴船山と鞍馬山に挟まれた谷合の地にある神社です。創建は不詳ですが、社伝によれば日本の初代天皇、神武天皇の母、玉依姫命（たまよりひめ）が黄色い船に乗って淀川、鴨川、貴船川を遡って当地に上陸し、水神である高靇神（たかおかみのかみ）を祭ったのが始まりと伝えられています。社名の由来はこの「黄船」によるものです。奥宮境内にある「御船形石」は玉依姫命が乗ってきた船が小石に覆われたものと伝えられています。水神を祭神としているため、水が濁らないようにという意味を込めて、「きぶね」ではなく「きふねじんじゃ」と発音します。ただ地域名は「きぶね」だそうです。

貴船神社は古くから祈雨の神として信仰され、歴代天皇は干ばつの時には黒馬を、長雨の時には白馬を奉納して祈願していました。後に生きた馬に替えて馬形の板に着色した「板立馬」を奉納しました。これが現在の絵馬の原形であり、貴船神社が「絵馬発祥の地」と言われています。

社殿は貴船川に沿って、川下から本宮・結社（中宮）・奥宮に分かれて建っています。本宮は高靇神を祭神としています。

結社（ゆいのやしろ）は磐長姫命（いわながひめ）を祭神とし、縁結びの神として信仰されています。以前は境内の細長い草の葉を結び合わせて縁結びを願っていましたが、植物保護のため授与される「結び文」があり、願い事を書いて結んでいます。

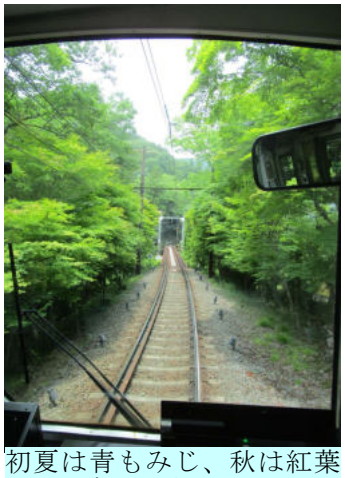
奥宮は闇靇神（くらおかみのかみ）を祭神とし、高靇神と同じ神様とされています。以前はここに本宮がありました。

叡山電車にはハートの形をしたつり革があります。全２２車両、１０２８個の中に一つ、１日から４日でランダムに取り替えられる超レアなつり革です。
あまりの興奮にピントが合いませんでした。

本宮から歩いて約１５分ほどに鎮座する奥宮。本殿の真下には、巨大な「龍穴」があり、「奈良室生」「岡山備前」と並ぶ日本三大龍穴のひとつです。

結社（中宮）。京都随一の「縁結び」パワースポット。は、夫との復縁を願った平安時代の女流歌人・和泉式部がお参りをしたのもこのお社です。

本宮本殿。貴船神社は、全国約５００社を数える貴船神社の総本宮。清流・貴船川は鴨川の源流にあたり、「京都の水源を守る神」とされてきました。



初夏は青もみじ、秋は紅葉のトンネルになります。

「御船形石」、黄船が石組みの中に隠されています。

「結び文」に願い事をしたためましょう。

本宮に建つ２頭の馬の像。日照りや干ばつには降雨を祈願する「黒馬」、長雨が続くと止雨を祈願する「白馬」を奉納することを始めとした絵馬発祥の地です。

内藤建築事務所

■本社
〒606-8202
京都市左京区田中大堰町182
TEL:075-781-4111／FAX:075-701-2423
E-Mail:kyoto@naito-archi.co.jp

■東京本社
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-12-8 HF八丁堀ビルディング6階
TEL:03-5543-2131／FAX:03-5543-2135
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

■本社

■東京本社

■東京事務所
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-12-8 HF八丁堀ビルディング6階
TEL:03-5543-2131／FAX:03-5543-2135
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

■名古屋事務所
〒460-0003
名古屋市中区錦1-7-32 名古屋SIビル5階
TEL:052-212-4645／FAX:052-212-4051
E-Mail:nagoya@naito-archi.co.jp

■大阪事務所
〒541-0045
大阪市中央区道修町1-4-6 ミフネ道修町ビル5階
TEL:06-6203-7110／FAX:06-6203-7122
E-Mail:osaka@naito-archi.co.jp

■広島事務所
〒732-0052
広島市東区光町1-13-20 ディア・光町ビル3階
TEL:082-568-5544／FAX:082-568-5545
E-Mail:hiroshima@naito-archi.co.jp

■九州事務所
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-14-16 博多駅前センタービル5階
TEL:092-441-6836／FAX:092-451-4860
E-Mail:kyushu@naito-archi.co.jp

■静岡事務所
〒420-0859
静岡市葵区栄町2-5 アークビル5階
TEL:054-253-6347／FAX:054-255-7859

■奈良事務所
〒634-0078
奈良県橿原市八木町1-7-3 橿原ビル4階
TEL:0744-29-0322／FAX:0744-25-7159

■四国事務所
〒781-0806
高知市知寄町2-2-41 知寄町マンション2階
TEL:088-883-4280／FAX:088-883-4272

■南九州事務所
〒892-0871
鹿児島市吉野町3095-157
TEL:099-294-0311／FAX:099-294-0311

■長野営業所
〒381-0043
長野市吉田3-14-17
TEL:026-241-0590／FAX:026-241-1245

■福井営業所
〒918-8112
福井市下馬2-812
TEL:0776-43-6027／FAX:0776-43-6029

■神戸営業所
〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-12
TEL:078-367-6255／FAX:078-367-6256

■和歌山営業所
〒640-8354
和歌山市北ノ新地東ノ丁1
TEL:073-435-6080／FAX:073-435-6101

■長崎営業所
〒852-8023
長崎市若草町13-3
TEL:095-844-5151／FAX:095-844-5151

■宮崎営業所
〒886-0006
宮崎県小林市北西方3000-1
TEL:0984-27-2485